



中国・内モンゴル自治区
シリングル盟の
天幕住居「ゲル」

最近ではあまりみかけなくなったゲルでの暮らし。
ポスターや当日レジュメ・スライドに使用しました。

(撮影：野村)



左上 中国・内モンゴル自治区 フフホト市の様子。レンガ造りの古い楼房と高層ビルが混在しています。

左下 フフホト市内の1980年代に建設された旧住宅地区の空き地で遊ぶ子どもたち。

右上 フフホト市内の幼稚園での授業風景。数学や英語の授業もあります。

右下 フフホト市内の物業管理形式による新興住宅地区の様子。塀で囲まれた敷地には24時間の警備体制があります。

(詳細は「都市におけるモンゴル民族の暮らし」ヤルによる発表内容参照

撮影：ヤル・野村)



左上 中国・内モンゴル自治区 シリングル盟の様子。1980年代の放牧の風景です。

左下 シリングル盟・ウジウムチン旗の旧正月。民族衣装が特徴的です。羊を生きていたときの順番に盛り付けます。

右上 母親のいない（子育てをしない母羊含む）子羊に乳母の乳を飲ませているところ。

右下 結婚式で移動している様子。中央で馬に乗っているのは花嫁です。

（詳細は、セミナー講師である小長谷先生の講演内容参照 撮影：小長谷有紀）



セミナー当日の様子

学内者・学外者あわせて33名の方にご参加いただきました。

はじめに

文部科学省の平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブに、奈良女子大学大学院人間文化研究科の『生活環境の課題発見・解決型女性研究者養成』教育プログラムが採択され、今年度から、新たな教育カリキュラムとして設けられた「研究マネジメント群」科目の一つとして、博士後期課程の学生を対象に「研究プロジェクト演習」が開講されました。

本演習のなかで、平成18年度の受講生は最初の公開セミナーを開催しました。本報告書は、この「研究プロジェクト演習 公開セミナー」の実施に関する総括として、受講生が自らまとめたものです。来年度以降の「学生による自主企画研究セミナー」の学生用資料に供するために、本教育プログラム推進委員会自主活動支援部会からの要望があり、本報告書を作成することになりました。

本授業科目の目的は、受講生が研究プロジェクトを企画、実施、成果発表に至る協同的活動を自主的に行ない、自ら課題を発見し解決する力を養うことにあります。これらのプロセスを演習科目として開講することで、博士後期課程学生が、研究の推進にかかる一連のプロセスに取り組める機会を提供していくことをねらっています。演習においては、これらの研究プロジェクトを実施するための指導と意見交換を行うとともに、それに必要な①研究セミナー講師の招聘にかかる講演謝金と旅費、②研究セミナー開催時の映像機器の貸出、③広報のためのポスターやチラシの印刷などの支援をあわせて行っています。

上記のような本報告書作成の趣旨に添って、本書が学生の自主企画研究セミナー等の開催において活用されることを期待します。

2007年3月

奈良女子大学大学院人間文化研究科「魅力ある大学院教育」イニシアティブ
教育プログラム推進委員会委員長・取組実施担当者責任者 今井 範子

目次

| | |
|----------------|----|
| 企画会議資料..... | 1 |
| 広報活動..... | 21 |
| セミナー準備物..... | 29 |
| セミナー内容..... | 43 |
| セミナー運営報告会..... | 71 |
| その他..... | 87 |